

▶ 健康長寿は、乳幼児期の生活習慣から

子どもの健康管理は乳幼児期から

本県は、小学校入学時点ですでに肥満傾向児出現率が全国平均よりも高いという状況があり、小学校入学前からの家庭の健康管理がとても大切です。このため県教育委員会では、乳幼児期の家庭教育を応援する事業を実施しており、大学教授、保健所長、保育関係者などでつくる専門の委員会を設け、乳幼児期の家庭教育の課題と方策について調査研究・検討を進めています。子どもの肥満については、「スポーツ飲料やジュースを水やお茶代わりに飲むことは糖分の取り過ぎになり、肥満の原因となる」といった意見も出ています。

「イクジイ、イクバア」の役割も大切

乳幼児期の子育てについては、祖父母の役割も大きいことから、県地域婦人団体連合会と連携し、「イクジイ、イクバアによるイマドキの子ども研修会」を開催しています。参加者からは「孫の将来の健康のためには、甘い飲み物の飲み過ぎはよくないことがわかった」といった感想が寄せられています。



乳幼児期の健康な生活習慣の定着に向けて

一方、現役の子育て世代に限らず、未来の親世代の意識啓発も重要です。11月に開催したフォーラムでは、ヤングパパママと未来のパパママ交流会が行われ、「未来のパパママ」の高校生から、「青森で子どもを産んで育てていきたい!」という頼もしい一言がありました。

今後、県教育委員会では、市町村と連携し、母子健康手帳を活用した情報発信など、乳幼児期の健康な生活習慣の定着に向けた取組を、市町村や関係する方々と連携しながら進めていきますので、皆さんのご協力をお願いします。



詳しくは、県庁HP [0歳 家庭教育](#)

生涯学習課 ☎017-734-9890

▶ 運転に不安を覚えたなら考えてみませんか？

～運転免許証の返納は交通安全への第一歩～

県内の事故発生件数は全体として年々減少傾向にありますが、高齢ドライバーによる事故件数は横ばいで推移しています。高齢ドライバーの中には、運転に不安を感じつつやむを得ず運転している方も多いと思われます。

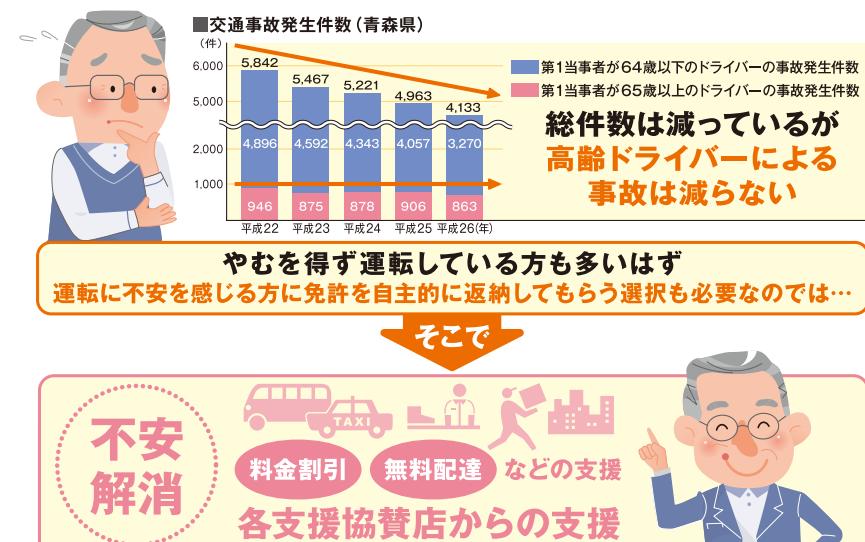
そこで、青森県警察では、自主的に運転免許を返納し、運転経歴証明書の交付を受けた方に対して、県内の支援協賛店の協力を得てタクシー運賃の割引や、商品宅配サービスなどの日常生活支援を行っています。

この機会に運転免許の自主返納を検討してみませんか？

詳しくは、運転免許センター（電話017-782-0081）または県内各運転免許試験場、県内各警察署にお問い合わせください。

詳しくは、[青森県警 自主返納](#)

警察本部交通企画課 ☎017-723-4211



県職員からのお知らせコーナー | 医療薬務課 主事 白鳥 咲菜

良医を育む地域・青森へ－青森県の挑戦－

■県の取組

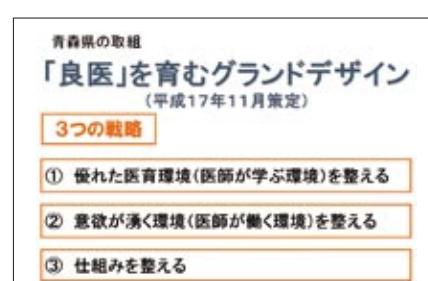
県では、医師を目指す中高生の段階から、医学生、研修医を経て、医師として成長した後も応援していく仕組みとして、「良医を育むグランドデザイン」を策定し、県内で能力を発揮する医師が少しでも増えるよう、多くの取組を行っています。

その一つとして、良い資質を伸ばすことを目的に、中高生を対象とした事業を展開しています。

■「ドクタートーク2016」を開催しました

今年度は3回、県内でご活躍のベテラン医師による講演会を開催しました。

会場は三本木高校、弘前高校、田名部高校の協力をいただき、近隣地域の中高生約300人が参加しました。講師に八戸市立市民病院の岡本道孝先生、板柳中央病院の長谷川範幸先生、むつ総合病院の坂井哲博先生をお迎えし、医師の生活や



三本木高校での様子

心構え、リアルな仕事の様子など普段踏み入れることのない世界についてお話を聞くことができました。

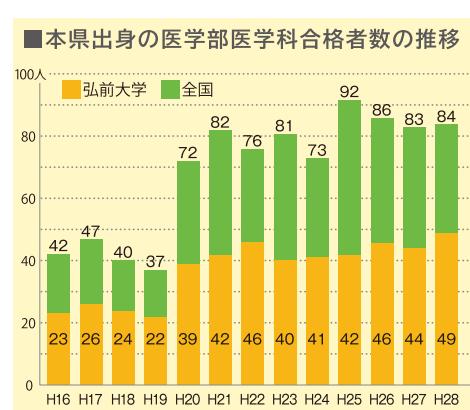
講演後、活発な意見交換が行われ、参加者の関心や医師を志す気持ちを高める機会となりました。

講師の先生方の熱意を受け取り、幅広く活躍されることを楽しみにしています。

■これまでの成果

このように「良医を育むグランドデザイン」をもとに実施した取組により、本県出身医学部医学科合格者数が増加しています。

今後も良き資質・能力の育成と発揮のため努力していきます。共に働く日を待ちにしています。



詳しくは、[良医 青森](#)

医療薬務課 ☎017-734-9288